

教科	数 学	科目	数 学 A	単位数	2
学年	2 年	類 型	流通経済科・情報ビジネス科・地域ビジネス科		
教科書(出版社)	改訂版 最新 数学 A (数研出版)				
副教材(出版社)	改訂版 パラレルノート 数学 A (数研出版)				
授 業 の 概 要	場合の数と確率では、条件つき確率まで学習する。整数の性質ではユークリッドの互除法を使い、応用問題にも対応できるように学習する。図形の性質は平面の性質から空間の性質を考えられるように学習する。				
授 業 の 目 標	数学では自ら考え、かつ実際に計算や推論をしないと数学の考え方が身に付かない。例題から練習問題を通して、応用問題にも、強いられてするのではなく、数学のもっている面白さにつられて自然に挑戦する態度を身に付ける。				
年 間 学 習 計 画	学習内容(単元・項目)		学 習 目 標		
	1 学 期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率	樹形図などを利用した個数の数え方について学び、また、和の法則、積の法則が成り立つのはどのような場合なのかを理解し、各場合に適切な応用ができるようにする。独立試行の典型的な例であり、最も重要な例でもある反復試行の確率を理解する。このとき、組合せを用いることを理解する。		
	2 学 期	第2節 確率 3章 整数の性質 第1節 約数と倍数 第2節 ユークリッドの互除法 第3節 整数の性質の活用 第2章 図形の性質 第1節 平面図形	具体例を通して、条件付き確率と乗法定理の考え方を理解する。 整数の性質を利用し、倍数の判定の仕方を学び、その方法を習得する。素因数分解を利用した最大公約数、最小公倍数の求め方を理解する。ユークリッドの互除法によって2つの数の最大公約数を求め、不定方程式の1つの整数解を求められるようにする。2進法で表された数を10進法に直し、また、その逆をできるようになる。 線分の内分・外分を理解する。三角形の内角の二等分線と比の定理を理解する。三角形の重心、外心、内心の関係を理解する。		
	3 学 期	第1節 平面図形 第2節 空間図形	チェバの定理、メネラウスの定理を理解し、それを活用できるようにする。 円の接線と弦のつくる角の定理を理解する。方べきの定理を理解する。2つの円の関係を理解し、その共通接線に関する問題に活用できるようにする。平行接線の作図やその応用ができるようにする。 空間における直線や平面の位置関係について理解する。多面体の性質を理解する。		
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	
	関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用できる。	事象を数学的にとらえ、論理的に考え、ともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えられる。	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方、推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決できる。	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
備 考	4つの観点に基づき、学期ごとに定期考査までの学習のまとめごとに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	数 学	科 目	数 学 A	単位数	3
学 年	2 年	類 型	商業科		
教科書(出版社)	改訂版 最新 数学 A (数研出版)				
副教材(出版社)	改訂版 3 ROUND 数学 A (数研出版)				
授 業 の 概 要	場合の数と確率では、条件つき確率まで学習する。整数の性質ではユークリッドの互除法を使い、応用問題にも対応できるように学習する。図形の性質は平面の性質から空間の性質を考えられるように学習する。				
授 業 の 目 標	数学では自ら考え、かつ実際に計算や推論をしないと数学の考え方が身に付かない。例題から練習問題を通して、応用問題にも、強いられてするのではなく、数学のもっている面白さにつられて自然に挑戦する態度を育てる。				
年 間 学 習 計 画	学習内容(単元・項目)		学 習 目 標		
	1 学 期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率	樹形図などを利用した個数の数え方について学び、また、和の法則、積の法則が成り立つのはどのような場合なのかを理解し、各場合に適切な応用ができるようにする。独立試行の典型的な例であり、最も重要な例でもある反復試行の確率を理解する。このとき、組合せを用いることを理解する。		
	2 学 期	第2節 確率 3章 整数の性質 第1節 約数と倍数 第2節 ユークリッドの互除法 第3節 整数の性質の活用 第2章 図形の性質 第1節 平面図形	具体例を通して、条件付き確率と乗法定理の考え方を理解する。 整数の性質を利用し、倍数の判定の仕方を学び、その方法を習得する。素因数分解を利用した最大公約数、最小公倍数の求め方を理解する。ユークリッドの互除法によって2つの数の最大公約数を求め、不定方程式の1つの整数解を求められるようにする。2進法で表された数を10進法に直し、また、その逆をできるようにする。 線分の内分・外分を理解する。三角形の内角の二等分線と比の定理を理解する。三角形の重心、外心、内心の関係を理解する。		
	3 学 期	第1節 平面図形 第2節 空間図形	チェバの定理、メネラウスの定理を理解し、それを活用できるようにする。 円の接線と弦のつくる角の定理を理解する。方べきの定理を理解させる。2つの円の関係を理解し、その共通接線に関する問題に活用できるようにする。平行接線の作図やその応用ができるようにする。 空間における直線や平面の位置関係について理解する。多面体の性質を理解する。		
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	
	関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用できる。	事象を数学的にとらえ、論理的に考えとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えられる。	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決できる。	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
備 考	4つの観点に基づき、学期ごとに定期考査までの学習のまとめりにごに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。				